

主要施策	中期ビジョン	2025年度事業計画
1. コミュニティホスピタルの実現	① 地域包括ケアシステムにおける在宅療養支援病院としての役割強化 ② 地域住民の健康状態を把握し、予防医療の重要性を啓発 ③ 地域のイベントへの積極的な参画 ④ コミュニティのための交流事業の拡充 ⑤ 災害時・緊急時に対応可能な医療体制を強化 ⑥ 医療安全の拡充	■ 地域ニーズに応じた病床活用の最適化(地域医療構想) ① ■ 外来対応の充実 ① 高齢者施設への積極的な医療支援 ① ■ 高齢者救急の拡充 ① 安定した検査体制の維持 ① ■ 健康増進のために地域コミュニティと協力 ② ■ 医療過疎地域への貢献 ② おぶせスタディの継続 ② ■ 地域のイベント(おぶせ見にマラソン等)への参加 ③ 地域リハビリテーションの関わり ③ ■ 敷地内建物(メイプル)を利用したコミュニティ支援 ④ ■ 病院祭の実施 ④ 地域住民向けの講習会・ワークショップの実施 ④ ■ 事業継続計画(BCP)の整備 ⑤ ■ サイバーセキュリティの確立 ⑥ 積極的なインシデント報告 ⑥
2. そのひとを最大限尊重するケアの追求	① 患者中心のケアの推進 ② 在宅診療の質の向上 ③ 心地よい療養環境の整備 ④ 多職種協働の充実 ⑤ 医療機関・介護施設・行政との連携の強化 ⑥ デジタル技術活用による医療サービスの質の向上	■ ユマニチュード(認知症ケア)の実践 ① セル看護提供方式の定着 ① ■ 緩和ケアの充実 ① 摂食嚥下ケアの充実 ① 栄養支援の強化 ① リハビリテーションの拡充 ① ■ 身体拘束最小化の取組み強化 ① 患者満足度(CS)調査の実施 ① ■ 患者・家族の意思決定を支援する仕組みを整備 ① ■ 訪問看護ステーションの設置 ② 訪問リハビリテーション長野市への拡大 ② ■ 中庭(賢者たちの森)の活用 ③ ■ チーム活動の充実 ④ ソーシャルラウンドの充実 ④ ■ 退院支援・在宅復帰の推進 ⑤ ■ オンライン診療の推進 ⑥ 電子処方箋の導入 ⑥
3. 高い専門性と使命感を持った担い手の育成	① 高い専門性と使命感をもった人財の採用 ② 多職種協働ができる人財の育成 ③ 継続的なキャリア形成支援の強化	■ チーム医療を実行できる医師の採用強化 ① ■ 教育機関との連携強化 ① ■ 看護師、介護福祉士、薬剤師の採用強化 ① ■ 医療安全文化醸成のための研修拡充 ② 実践的なスキル習得のためのVR研修の実施 ② ■ 働きがいが高める人事制度設計 ③
4. 多様な働き方と働きがいの創出	① 多様な働き方に対応できる組織文化の醸成 ② 働きがい向上させる制度設計 ③ デジタル技術活用による働き方改革	■ 柔軟な働き方の導入 ① ■ 福利厚生の充実 ② 職員満足度(ES)調査の実施 ② ■ 評価・表彰制度の導入 ② ■ 健康経営優良法人の継続 ② ■ デジタル化による業務の効率化 ③
5. 財政健全化の徹底	① 中長期計画に基づく収支改善と財政基盤の安定化 ② 公益性向上(社会医療法人格取得) ③ 運営体制の整備と強化 ④ 診療報酬・介護報酬の適正請求	■ 収支計画に基づいた適切な借り入れ ① ■ 中長期的な設備投資計画の立案 ① ■ へき地医療提供体制の構築 ② ■ スマートフォンを活用した情報の透明化と迅速な伝達 ③ ■ 自己点検の仕組みの構築 ④

第8回行動計画

職員がその能力を発揮し、仕事と生活の調和を図り働きやすい雇用環境の整備を行うため、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間 2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日までの 2 年間

2. 区分① 女性労働者に対する職業生活に関する機会の提供

選択項目 男女別の将来の育成を目的とした教育訓練の受講の状況

区分①に対する数値目標

・管理職向け研修会参加率 90%、女性特有の健康課題に関する研修参加率 70%

<対策>

実施時期：2024 年 4 月～

「健康に配慮した職場づくり」「PMS、更年期障害」等をテーマに、E ラーニングやウェビナー等での実施を含め、職員が参加しやすい条件で各 1 回以上開催し、目標とした参加率を満たしつつ、教育機会を提供する。

3. 区分② 職業生活と家庭生活の両立に資する雇用環境の整備

選択項目 年次有給の取得率を向上させる

区分②に対する数値目標

年 5 日以上の取得率 95%を目指す

<対策>

実施時期：2024 年 4 月～

年 5 日以上の取得率 95%以上を目標として取得しやすい職場環境を提供していく